

高圧ガス施設等津波被害軽減対策事例シート

<u>整理番号</u>	<u>実施項目</u>	
26	土のう（応急対策資機材）の整備	
<u>大項目</u>	<u>細項目</u>	<u>関連事例</u>
緊急措置体制	応急復旧対策	27
<u>実施対象施設</u>	<u>実施費用</u>	<u>実施に要する期間</u>
-	-	-
<u>津波被害事例等</u>		
<p>○大規模地震時には、大規模な液状化の発生も想定されており、応急活動を実施するに当たって重要な通路などが液状化により通行できなくなれば、消防活動などに支障をきたすことも想定される。</p>		
<u>津波対策事例</u>		
<p>応急措置用の土のうを整備し、構内で液状化が発生した場合などに活用する。 これにより、構内通路で液状化が発生した場合においても防災活動上重要な通路の通行を確保することとしている。</p> <p>【整備状況】 構内数箇所に保管しており、一箇所当たり約200袋用意している。</p> <p>【土のうによる応急措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○構内液状化発生時の応急措置用</li> <li>○流出油防止堤としての活用</li> </ul>		
		
<p>土のう置場の外観</p>		
<u>要点</u>		
<p>○必要な土のうの量、置場、緊急時にどのように使用するのか、誰が作業するのかなど、緊急時の従業員の作業内容についてあらかじめ定めておく必要がある。</p>		